


## 22世紀のAIの哲学

—人間本性論から資源本性論へ方向転換—


**染谷昌義 (高千穂大学)**  
 2019年3月23日 東京大学駒場キャンパス  
 シンポジウム「人工知能の哲学2.0の構築に向けて」  
 JST/RISTEX「人と情報のエコシステム」研究開発領域  
 「人と情報のテクノロジーの共生のための人工知能の哲学2.0の構築」プロジェクト

### Self Introduction


## 知覚と行為への生態学的アプローチ

### 生態学的アプローチからの哲学



氷河が去ったとき、惑星上にいた前時代の生き物は—ヒトザルも含めて—ほとんど消え去っていた。しかしヒトザルがそうした大半の生き物とちがっていたのは、子孫を残したことだった。彼らは絶滅したのではない—変貌をとげたのだ。道具を作った者が、道具自体によって作り直されたのである。

A.C. クラーク『2001年宇宙の旅』伊藤典夫訳



## Leading Question

哲学(哲学的思考)  
 は  
 人工知能(情報テクノロジー)の  
 何を批判的に検討するのか？

## 主張

第2次AIブーム  
 人間本性論(人間らしさの逆照射)  
 ↓変化↓  
 22世紀  
 資源本性論(AI・情報資源の使用/との共生)

## 第3グループ

### 研究テーマの紹介も兼

- 染谷昌義(高千穂大学)
- 柴田崇(北海学園大学)
- 上杉繁(早稲田大学)
- 中澤栄輔(東京大学)

## アウトライン

1. 第2次AIブーム時の哲学 **人間本性**
2. 90年代以降 心の哲学・心の科学の変化 **4E**
3. <より道考察> 第3次AIの哲学的本性論 **純粹知性体論**
4. 共生・協働・共進化(?) **資源本性**

## 哲学的議論

1. 第2次AIブーム時の哲学

**(A) 作って知る人間らしさ** (構成論的アプローチの人間本性論)  
 コンピュータを使って人間の知的な振舞いを生み出す・模倣する

**(B) 原理的な限界の指摘**  
 ルールで明示化できない文脈、身体的技能が支える背景知識、直観

## 人間本性の逆照射

計算機械で実現できないこと  
 (記号計算・情報処理(だけ)では  
 実現できないこと)

↓ ↓  
**人間らしさ**

1. 第2次AIブーム時の哲学

2. 90年代以降 心の哲学・心の科学

## 心の哲学・科学の90年代

- ◆ 方法論的個人主義・独我論への反省
- ◆ 身体・環境が有する、心のはたらきへの寄与

2. 90年代以降 心の哲学・心の科学

## 4Es 4つのE

- ① embodied(身体化した)
- ② embedded(状況に埋め込まれた)
- ③ enactive(行為志向的な)
- ④ extended(拡張した)
- ⑤ ecological(生態学的な)

2. 90年代以降 心の哲学・心の科学

## 身体性認知科学

- ・ 認知意味論
- ・ 身体性ロボティクス
- ・ 状況主義
- ・ 分散認知
- ・ 社会文化的アプローチ
- ・ 拡張認知仮説
- ・ 感覚-運動随伴
- ・ 生態学的アプローチ
- ・ 進化生態学的アプローチ
- ・ . . . .

3. <より道考察> 第3次AIの哲学

## 4Eを振りきる第3次AI

### 2010年代のAI技術

1. 機械学習アルゴリズムの進歩 (deep learning)
2. 膨大な学習データ(インターネット)

3. <より道考察> 第3次AIの哲学

## 超知性(統計的推論機械)誕生?!

人間を凌駕する領域

- ・ 画像/音声認識、テキスト応答
- ・ Ponanza, AlphaGo
- ・ . . . .

3. <より道考察> 第3次AIの哲学

## 純粹知性体論

純粹知性体/身体なき精神・心  
それは何?どんな特徴をもつ?

天使論 angelology

3. <より道考察> 第3次AIの哲学

・・・われわれがロボットに関してもっている関心のせめて何分の一かでも反対側の**天使**に向けるべきではないのか、その方がどれほど人間の尊厳にふさわしいことか、と思わざるをえない。・・・若い優れた頭脳が、(定義によって)自分たちよりも高次の精神ないし知性である**天使**について考えぬき、その成果について討論するといった催しが実現するのはいつの日であろうか。

稲垣良典『天使論序説』(講談社学術文庫) 36頁

3. <より道考察> 第3次AIの哲学

## 俺たちは天使じゃない

純粹知性体を  
想像力を駆使して考えぬく

↓

人間らしさを逆照射

4. 共生・協働・共進化

## もうひとつの第3次AI哲学

4E or multi-Eからの教訓

→ **生命活動の生態学的性格**  
生命活動 (心のはたらき含)  
**周囲**に依存・**周囲**を利用

4. 共生・協働・共進化

### 人間的な心のはたらきの本性

- ・**周囲**(モノ・道具・他者・記号表  
象・制度)を**利用**するさまざまな  
様式 = 心のはたらき
- ・**周囲**(依存先・利用先)から  
人間らしさを逆照射

4. 共生・協働・共進化

### 資源本性論

**周囲**は生命活動(知的な心のはたらきを含)の**資源**

1. 人に利用可能な**周囲・資源**は？
2. そこでどんな心のはたらきが**学  
習され発揮される**か？

4. 共生・協働・共進化

### さらに・・・

- ・AI・情報資源を**利用**する、心  
のはたらきの**拡張・経験変容**
- ・AI・情報資源との**協働**により  
可能になる新たな生活
- ・**望ましい**拡張・経験変容・協働

4. 共生・協働・共進化

### 昨今の思想的動向も 1

- ・拡張する心(extended mind)
- ・socially extended
- ・distributed
- ・漏れ出る心(leaky mind)

4. 共生・協働・共進化

### 昨今の思想的動向も 2

- ・human, non-humanを等しく  
アクターとする社会学的理論
- ・nature, societyの区別、生物  
種の区別を越境する人類学的考察  
や民族誌記述

4. 共生・協働・共進化

### まとめ

**旧AI哲学** → **22世紀AI哲学**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・人とAIとはどこが・何 が違う？</li> <li>・人にできてAIにできな いのはなぜ？</li> <li>・どうすればできる？</li> </ul> <p><b>人間本性論</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に利用可能なAI・情報資 源とは何か？</li> <li>・人はAI・情報資源を利用す ることでどう変わる？</li> <li>・望ましいAI・情報資源は？</li> </ul> <p><b>資源本性論</b></p>
--	--

### 最後に・それでも人間本性

人間 (human beings)

↓

人間 (human **becomings**)

周囲と交わり、周囲を作り変えつつ、  
周囲から作り変えられている、過程